

【質疑に対する回答（技術提案書等）】

知と交流の拠点施設整備基本設計業務

令和8年3月2日

提出された質疑について、次のとおり回答します。

番号	項目	質問内容	回答
1	【審査要領】 4. 二次審査の評価項目等 テーマ4	津波避難ビルとしての要件（対象人数、滞留時間、避難階の標高・階数、構造種別等）をご教示ください。	四日市市地域防災計画（令和7年7月修正）における「四日市市津波避難ビルガイドライン」（ https://bousai2.city.yokkaichi.mie.jp/sys/wp-content/uploads/2025/09/bosaikeikaku-1-09.pdf ）に基づき、提案をお願いします。
2	【四日市市建築設計業務委託特記仕様書】 VI. 設計者への提示資料 (3)	地盤条件について現時点で提供可能な既往地盤調査資料（ボーリング、地下水位、埋設物、液状化判定等）があればご教示ください。	近隣地での地質調査におけるボーリング柱状図は別紙1のとおりです。その他、別紙1と同一敷地における地質調査資料については、本市政策推進課にて閲覧可能です。閲覧を希望する場合には、事前に希望日時を連絡の上で来庁されるようお願いします。 (閲覧期間：令和8年3月2日(月)から3月19日(木)正午まで) なお、本計画地での地質調査は、令和8年度中に実施する計画です。
3	【特記仕様書】別紙2 3. 業務フロー 20)	「非常用発電設備については24時間連続稼働が可能となるように検討すること」とありますが、稼働の対象範囲及び対象範囲の具体的な利用想定をご教示ください。	本施設は、災害から命を守るために緊急的に避難する指定緊急避難場所及び津波避難ビルとして位置付ける予定です。（指定避難所のように避難者等が一定期間滞在するための施設に位置づける予定はありません。）このため、避難者が一時的に滞在できるよう、ワークショップスペース（会議室）などの居室において、照明やコンセントなどの最低限の負荷に電力を供給することを想定しています。具体的な対象範囲や対象負荷等については、本業務で検討することになります。
4	【四日市市建築設計業務委託特記仕様書】 I. 委託業務概要 3. 設計業務内容及び範囲	敷地周囲の上下水道・電力・通信・都市ガス等（以下、インフラ）の整備、引き込みの状況をご教示ください。	特記仕様書 別紙2 3. 4) のとおり、本業務に含まれます。
5	【その他】	敷地内で井水利用は可能でしょうか。既存および周辺敷地の井戸の実績などがあれば、掘削深さ、水質、水量等の状況をご教示ください。	井水利用についての技術提案は可能ですが、設置の可否やその他のデータについては提案者において調査してください。
6	【整備方針】 4. 滞在型図書館機能の整備方針 (3)	平成30年当時で蔵書冊数が約44.3万冊、将来的には70万冊と想定されておりますが、本業務における施設計画上の基準蔵書冊数は、約44.3万冊を前提として検討すればよろしいでしょうか。あるいは、将来的な蔵書増加を見据えた拡張性を踏まえた計画とすることが求められているか、ご教示ください。	将来的には70万冊収蔵可能な拡張性を担保しつつ、本プロポーザル時点においては、供用開始時に最低60万冊収蔵することを仮の想定とした提案を求めます。

番号	項目	質問内容	回答
7	【整備方針】 4. 滞在型図書館機能の整備方針（4）	自動書庫、集密（稼働）書庫、開架書架（陳列冊数）それぞれの蔵書配分割合について、現時点で想定されている目安がございましたらご教示ください。	開架・閉架の割合については、「知と交流の拠点施設整備方針」の4.（4）整備方針に記載の「開架スペースは、閲覧スペースとの取り合いの中で必要かつ十分な広さを確保する。利用者の手が届く高さの書架に図書を豊富に並べ、書架間も車イスが通ることができる通路幅を確保する。」を踏まえた提案を求めます。 なお、閉架のうち自動書庫の収蔵可能冊数については20万冊程度を想定していますが、最終的な配架割合については、提案内容も踏まえ、基本設計を進める中で検討するものとします。
8	【実施要領】 7 手続き等に関する事項（7）	提出部数2部と10部の提出物について綴じ方の指定等がありますでしょうか。	実施要領P12「7 手続等に関する事項（7）技術提案書等の受付」に記載のとおりとなります。
9	【様式集】 様式B-1号	設計共同体での参加の場合、商号及び名称に共同体名称を記載し、所在地、代表者職・氏名については代表企業の情報を記載するという認識で誤りないでしょうか。	お見込みのとおりです。
10	【審査要領】 4. 二次審査の評価項目等 コンセプト	スターアイランド跡地での検討時に行ったワークショップに関するまとめ資料をご提供いただくことは可能でしょうか。	四日市市の新しい図書館（ https://www.yokkaichi-newlib.com/ ）に掲載されている「新図書館に向けてのワークショップのニュースレター」の内容となります。また、同ホームページに掲載の「四日市市図書館基本構想策定業務委託検討報告書」にワークショップにおける主な市民意見を取りまとめています。
11	【整備方針】 4. 滞在型図書館機能の整備方針（3）	合計70万冊の蔵書に関して、開架・閉架の割合についての内訳情報はありますでしょうか。 また、開架について各分類毎に想定される蔵書割合についてもご提供いただくことは可能でしょうか。	開架・閉架の割合については、質問番号7の回答によります。 各分類毎の蔵書については、想定している割合はありませんが、現在の開架・閉架合わせたNDC分類（日本十進分類法）ごとの蔵書冊数は、「四日市市立図書館概要」（ https://www.yokkaichi-lib.jp/about/outline ）にあります。
12	【四日市市建築設計業務委託特記仕様書】 VI. 設計者への提示資料（3）	近隣の地盤調査データの提供は可能でしょうか。	質問番号2の回答によります。
13	【審査要領】 4. 二次審査の評価項目等 テーマ3	「図書館や多目的ホール、カフェなどそれぞれの運営者が～」とありますが、運営主体は異なる想定となりますでしょうか。	現時点では、運営者は異なる想定となりますが、同一の運営者となることを否定するものではなく、今後検討していく予定です。
14	【整備方針】 12. 整備費用 【審査要領】 4. 二次審査の評価項目等 テーマ5	「整備費用120～150億円」について税抜の目標額と認識して良いでしょうか。	消費税を含んだ120～150億円の範囲で整備するものとなります。 150億円については、建物整備費の現時点での上限額となります。
15	【特記仕様書】 別紙2 4. 特記事項 10)	家具什器などの備品工事、ICタグ導入などの図書システム関連工事は別途予算と考えて良いでしょうか。	事務用家具を除き、家具・什器については、本工事に含み、建物整備費（120億円～150億円）の範囲で整備するものとなります。 備品については、本工事とは別発注を想定しており、建物整備費（120億円～150億円）に含まない想定となります。 本市では、令和7年2月からICタグを導入しているため、新図書館開館に伴うICタグ導入費用は不要と考えます。また、IC機器も含めた図書館システム関連費については、別予算での対応を想定しております。

番号	項目	質問内容	回答
16	【二次審査実施ガイドライン】 3. 出席者に関する事項 (3)	説明者等に「質疑に対して、配置予定技術者以外の方が回答しても評価の対象とはなりません。」とありますが、一次審査で求められていた分野以外の分野の担当技術者を新たに配置した場合、二次審査に出席・回答したとしても評価対象にはなりませんでしょうか。	本市が配置を求めた技術者以外の方の回答については、評価の対象とはなりません。
17	【四日市市建築設計業務委託特記仕様書】 1. 委託業務概要 3. 設計業務内容及び範囲	計画地のインフラ引込み位置、または計画地周辺のインフラ情報があればご提示いただけますでしょうか。(電気・上下水道・ガス)	質問番号4の回答によります。
18	【整備方針】 12. 整備費用	現在敷地に存する建物等の解体工事および整地等の費用は別途予算と考えて良いでしょうか。	お見込みのとおりです。
19	【整備方針】 8. 導入機能別の想定規模 「併設駐車場」	駐車台数200台程度と面積6000㎡程度、どちらを優先するべきでしょうか。また、200台の設定根拠等ございましたらご提供いただけますでしょうか。 ※200台を満たそうとしますと6000㎡を超えるのではないかと考えています。	駐車場需要としては、休日のピーク時で360台程度を想定しておりますが、休日には近隣の市役所駐車場の時間貸し分(165台)が利用可能であることから、差し引き200台程度を併設する想定となります。 なお、延べ面積は想定のため、駐車台数を優先の上、本業務において要求水準を満たす計画としてください。(延べ面積の増減による契約変更は行いません。)
20	【整備方針】 8. 導入機能別の想定規模	諸室およびエリアの必要面積に関する諸元表などはありますでしょうか。	中心市街地拠点施設整備基本計画(平成30年1月策定)のP22に、その時点で想定した配分計画をまとめております。 諸室の面積等については、この基本計画とは立地条件が異なることから、必ずしもこの通りに進めるものではありませんが、当該内容も参考にしていただいた上での提案を求めます。
21	【その他】	実施設計業務の履行期間、施設の供用開始時期等、想定されているスケジュールはありますでしょうか。	現時点では、令和9年度に実施設計、令和10年度から工事を行い、令和11年度中の供用開始を目指しております。
22	【整備方針】 4. 滞在型図書館機能の整備方針(3)	「自動車文庫の蔵書別置等を踏まえて・・・」とありますが、新図書館には移動式図書館(ブックモバイル)は設置しないと考えるのでしょうか。	お見込みのとおりです。
23	【整備方針】 4. 滞在型図書館機能の整備方針(4)	「自動書庫と併せて各フロアに閉架書庫を設ける」とありますが、各フロア何冊の想定でしょうか。	質問番号6及び7の回答によります。
24	【整備方針】 5. 多世代交流機能の整備方針(3)	「舞台袖のスペース(上手と下手と合わせて10m)」とありますが、舞台袖の幅の合計値が10mと考えてよろしいでしょうか。 席数200席のうち、ロールバック席の割合は提案によると考えてよろしいでしょうか。	舞台袖のスペースについては、お見込みのとおりです。 ロールバック席の割合については、本ホールが、市民グループが利用しやすい規模でありながら、舞台公演に必要な音響等の舞台装置を備えた本格的なホールであることを踏まえた提案を求めます。

番号	項目	質問内容	回答
25	【建築設計業務委託特記仕様書】 4. 特記事項 16)	駐輪場併設の検討も行うこととありますが、駐輪台数の指定等はありませんでしょうか。	中心市街地拠点施設整備基本計画（平成30年1月策定）のP30に駐輪場需要の想定をまとめております。 駐輪台数については、この基本計画とは立地条件が異なることから、必ずしもこの通りに進めるものではありませんが、当該内容も参考にさせていただいた上での提案を求めます。
26	【整備方針】 5. 多世代交流機能の整備方針（3）	「ホール（可動席）の・・・整備費用については、10億円」とありますが、バトン、音響反射板などの舞台機構の想定しているリストがあれば開示をお願いします。	現時点で、想定している舞台機構のリストはありません。 応募者からの提案を踏まえ、基本設計を進める中で決定していくこととなります。
27	【整備方針】 4. 滞在型図書館機能の整備方針（3）	開館時の想定蔵書数（一般、児童）、開架閉架の割合について、想定がありましたらご教示ください。	質問番号6及び7の回答によります。
28	【特記仕様書】 別紙2 4. 特記事項 10)	一般書架については、本工事と考えてよろしいでしょうか。	一般書架については、本工事に含まれます。
29	【四日市市建築設計業務委託特記仕様書】 VI. 設計者への提示資料（3）	敷地の地盤調査報告書（ボーリング柱状図等）がございましたら開示をお願いいたします。	質問番号2の回答によります。
30	【その他】	各機能（一般図書館、児童図書、カフェ、ホール、交流、ワークショップなど）の想定開館時間、休館日をご教示ください	現時点での想定はありません。 基本設計と並行して検討を進める予定となります。
31	【ヒアリング会場】	ヒアリング会場のスクリーンの大きさ、縦横比をご教示ください。	スクリーンのサイズは、縦：約1.2m、横：約1.7mとなります。
32	【ヒアリング会場】	ヒアリング会場の設備について、マイク・スピーカーはありますか。	マイク・スピーカーの準備はありません。

別紙1 近隣ボーリング調査地点



縮尺 1 : 2500
2013103 0 10 20 30 40 50 60 70 80

ボーリング柱状図

調査名 諏訪新道第一地区第一種市街地再開発事業地
質調査

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	N o . 2	調査位置	三重県四日市市諏訪町地内			北緯	34° 57' 50.5"
発注機関				調査期間	平成 5年 3月11日 ~ 5年 3月23日		
調査業者名				現場代理人			
主任技師				コア鑑定者			
ボーリング責任者							
孔口標高	-0.30m	角	180°上	方	北	東	西
総掘進長	60.17m	度	90°下	向	270°西	90°東	180°南
試験機	K R - 1 0 0			ハンマー	落下用具		
エンジン	F - 8 5			ポンプ	V - 6		

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	標準貫入試験				原位置試験	試験採取	室内試験	掘進月日	
									深	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量	N 値					
1	-2.00	1.70	1.70	埋土	暗灰~黄灰~暗灰	緩い		0.15m, アスファルト 0.40m付近, 黄灰の細砂 殆ど砂礫の埋土である	1.00	3	4	3	10/30				
2	-2.90	0.90	2.60	礫混じり粗砂	淡黄灰~灰	緩い		含水大 礫はφ10mm以下	2.00	2	3	3	8/30	2.10	透水試験		
3				シルト	暗灰	軟らかい		粘性非常に強いが軟らかい	2.30				0	3.10	孔内水平載荷試験		
4	-4.40	1.50	4.10						3.45	0	6	8	14/30	3.70			
5									4.00				0				
6				礫混じり粗砂	淡黄灰~淡緑灰	中位		4.15m付近まで暗灰の中砂層 以後淡黄灰 含水多く、マトリックスに粘性全然なし 礫はφ10mm以下 7m付近より含水特に多くなる 9m付近より淡緑灰となり、少量の貝殻片が混入する	4.30				14				
7									5.00	7	5	6	18/30				
8									5.30				18				
9	-9.90	5.50	9.60						6.00	9	7	9	25/30	8.10			
10	-10.30	0.40	10.00	砂質シルト	暗緑灰	緩い		少量の貝殻片混入 上部は砂が多い	6.30				25				
11	-10.80	0.50	10.50	シルト質細砂	暗緑灰	緩い		少量の貝殻片混入	7.00	8	8	7	23/30	8.70	孔内水平載荷試験		
12				シルト混じり細砂	淡灰	中位~緩い		粒子均一 所々極少量の貝殻片や養母片混入 11.50m付近までシルト少ない所もある	7.30	8	8	8	24/30	9.00	透水試験		
13	-13.15	2.35	12.85	砂混じりシルト	暗緑灰	軟らかい		所々シルト質細砂層挟在 貝殻片全体的に少量混入	8.00	8	8	8	24/30				
14	-14.50	1.35	14.20	シルト質細砂	暗灰	非常に緩い~緩い		少量の貝殻片混入 粒子均一 15.10mよりシルトが多くなり、砂質シルトの所もある	8.30				24				
15	-15.70	1.20	15.40						9.00	10	10	10	30/30				
16									9.30				30				
17									10.00	1	2	2	5/30				
18				シルト	暗緑灰~暗灰	軟らかい		所々薄い微細砂層を挟む 17.65mに薄い砂層を挟む 粘性非常に強い 下層部次第に硬くなる	10.30	3	4	5	12/30				
19									11.00				12				
20									11.30	3	4	3	10/30				
21	-22.05	6.35	21.75						12.00				10				
22	-23.10	1.05	22.80	シルト混じり細砂	淡灰~暗灰	中位		22m付近, 細砂層 以後、15cm程シルト層挟在 下層部はシルトが少なくなる	12.30	1	1	2	4/30				
23	-23.75	0.65	23.45	砂礫	淡灰	密な		礫はチャートの歪角礫が多く、φ15mm位まで マトリックスは粗砂	13.00	1	1	1	3/35				
24				シルト	暗灰	中位		24.00~24.20mまでシルト質細砂層	13.33	1	1	1	3/35				
									14.00	1	1	1	3/35				
									14.35	3	1	2	6/30				
									15.00				6				
									15.30				6				
									16.00	1	1	1	1/45				
									16.45				1				
									17.80	0	1	1	2/30				
									18.10				2				
									19.00	1	1	1	3/30				
									19.30				3				
									20.00	1	2	1	4/34				
									20.34				4				
									21.00	1	1	2	4/30				
									21.30				4				
									22.00	3	3	8	14/30				
									22.30				14				
									23.00	16	14	15	45/30				
									23.30				45				
									24.00	3	2	3	8/30				
									24.30				8				

2-1 ①

